

民主戸田

No.1899
2025年8月10日
発行
日本共産党
戸田市委員会
048-443-8332



市議団ホームページ
QRコード
※市議団HPは現在
更新準備中です

誰もが安心して暮らせるまちに 社保協キャラバンおこなわれる



8月1日、埼玉県社会
保障推進協議会の202
5年自治体要請キャラバ
ン行動が午後2時30分
から戸田市役所内会議室で
おこなわれました。

この行動は、埼玉社保
協結成直前の1993年
6月から自治体訪問（懇
談）を始めてから毎年、
5月～7月頃に社会保障
の拡充を求め埼玉県内の
全市町村と懇談をおこ
なっているものです。医
療、介護、障害者福祉、
子育て・保育、最低生活
保障などに関する事前ア
ンケートおよび、要望書
による文書回答と、全県
統一の懇談内容で懇談を
お願いしているもので
す。

戸田市の懇談では「子
どもの国保均等割の免
除」「高齢者の補聴器購
入助成基準の『40デシ
ベル』の見直し」「小学
校における給食費無償化
の早期実施」「国に対し
生活保護受給者への夏
季加算実施を要望するこ
と。戸田市での独自実施を」

等、キャラバン参加者か
ら様々な要望が出され、
戸田市の福祉を中心とし
た様々な分野が、市民誰
もが安心して暮らせるま
ちとしての制度となるよ
う市担当課との懇談が行

われました。
日本共産党戸田市議団
から本田哲、花井あきこ
議員が同席しました。

脱炭素に向けて

戸田モーターボート「E30燃料」に変更

7月29日、戸田ボート
レース企業団議会定例会
が開かれ、条例改正1件
と補正予算1件が委員会
で審査がおこなわれ、全
会一致で採決されまし
た。

条例改正は、職員の育
児休業取得の改正です。

補正予算は、脱炭素
社会に向けて、202
6（令和8）年8月から
現在のモーターボートで
使用しているガソリンを
「E30燃料」（E30燃料と
は、ガソリンに30%のエ
タノールを混合した燃料

のこと）に変更するた
め、E30燃料用地下タン
ク設置工事額4000万
円（上限）の債務負担行
為が提案されました。今
回の変更で、ガソリン価
格より若干高くなるが、
CO₂削減の効果が12%
15%になるとのこと
です。すでに、大村・びわ
この競艇場で実証実験を
しており、ボートレー
ス場全国24場で「E30燃料」
への変更を進めるとのこ
とです。（戸田ボートレー
ス企業団議会議員・本田
哲）

お困りごとなど何でもご相談ください



はない
花井 あきこ

048-443-8332
（日本共産党戸田
事務所）



ようこ
むとう 葉子

048-443-8332
（日本共産党戸田
事務所）



ほんだ てつ
本田 哲

090-3535-9643

生活相談コーナー

板橋区、足立区の孤立 防止政策を行政視察

健康福祉常任委員会

戸田市議会健康福祉常任委員会は、今年度の委員会の年間活動テーマを「孤独・孤立対策について」とし、調査・研究を進めています。

戸田市は、子育て世代が多く若いまちであり、妊産婦の方への支援策として、妊娠期から切れ目

のない相談支援や産後の子育て支援環境の充実に向けた取り組みを推進しています。一方で、ハイリスク妊産婦の方や出産後の家庭状況に課題を抱える産婦の方も増えている現状があり、市として必要な支援ができる体制を充実させていく必要が

あることから、産後ケア事業に取り組んでいる板橋区の「子育てサロンひだまり」を7月30日に視察。また、高齢者の孤独・孤立については、さまざまな対策を実施しているものの、見守りの目が行き届かないことや拒否反応を示す方をどのように支援につなげていくかなど課題があり、必要な支援の充実が求められていることから、足立区の「孤立ゼロプロジェクト推進活動」を8月1日に視察しました。

戸田市宅地開発事業等 指導条例の一部改正(案)

に係るパブリック・コメントの実施について

市では、2017（平成29）年1月から戸田市宅地開発事業等指導条例を施行し、市内で行われる宅地開発事業などに関する手続及び基準を定めることにより、良好な都市環境の形成を図っております。この度、子育て世帯等の定住化や社会情勢の変化に合わせた住宅供給を促進するため、条例の改正を予定しています。そこで、その内容について広く市民の皆さんから意見を募集します。

募集期間：8月5日（火）～9月3日（水）

担当課：建築住宅課（内線322）

提出方法：資料公開場所への持参、郵便、FAX（048-433-2200）、電子メール（kentiku-jutaku@city.toda.saitama.jp）、市ホームページのお問い合わせフォーム※資料公開場所により受付時間が異なります

資料公開場所：建築住宅課、市政情報コーナー、各福祉センター、コンパル、戸田公園駅前行政センター、さくらパル、あいパル、市ホームページ

問い合わせ先 行政管理課

電話：048-424-9551

「子育てサロンひだまり」は、「人々が気軽に集い、相互交流や妊娠・出産・子育ての不安・悩みを相談できる場を提供することにより、母親の育児適応を高め、住み慣れた地域で自分らしい子育てをめざす」ことを目的に作られた施設です。「母児のケア」「育児相談・指導」「休息」を中心に、豊かな経験値・実践知をもつ助産師などが個別的な指導、質の高い産後ケアをおこなっています。核家族化が進行している現在、住んでいる地域で身近に、保護者が休息でき悩みなどを相談できる施設があることの素晴らしさを体感しました。

「足立区孤立ゼロプロジェクト」は、2010年に生存していれば11歳の区民が30年前に死亡していたとの事件を受け、2013年に「足立区孤立プロジェクト推進に関する条例」が施行されました。「気づく」「つ

ながる」「寄り添う」をキーワードに地域の人との交流を通して、いくつになっても笑顔あふれる「お互いさまのまち」をみんなの力で築いていく活動に取り組んでいます。現在、「足立区孤立ゼロプロジェクト」をより進展させるため、従来の民生委員や町会、地域のボランティア等による「見守り」にプラスし、地域商店、区内企業、大学、高校などにも協力を呼びかけ「町の見守りの目」を増やすことに取り組んでいくと説明された

平和の鐘つき

8月15日（金）

12:00～（集合11:45）

市内6か所の寺院

......*...*...*

原爆パネル展

8月26（月）～9月7日（日）

平日9:00～20:00、土・日9:00～18:00

（初日は12:00～、最終日は～16:30）

戸田市立中央図書館

のが印象的でした。

先進市への視察などを通じて感じたことは、どんなに制度を用意しても当事者・現場との乖離がないのか。必要な情報を発信していても当事者はキャッチできるのか。人とかかわりを拒絶している人へのアプローチはどのようなしたらよいのか等、対策の難しさを改めて実感しました。今後、本委員会でも協議し、市民の現状に寄り添った提言書となるようまとめたいと思います。（健康福祉常任委員会委員・本田哲）